

## キタ！からきた



だより

第176号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。

[kitasibu2012@yahoo.co.jp](mailto:kitasibu2012@yahoo.co.jp) 大阪北支部宛



## 「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 059>

レポーター（岩佐まり）



今回ご登場いただくのは、淀川区社会福祉協議会の事務局長をお務めで、マリオネットパフォーマー（操り人形）としてもご活躍されている小牧義孝さんです。

小牧さんは、専門学校を卒業後に保育士として保育の現場で働かれておりました。その後、社会福祉協議会で子育て支援に携わられたことがきっかけで、専門的な目線をもって子育ての相談援助をしたいと思い、社会福祉士の資格を取得されました。

現在は社会福祉協議会の本部で幅広い業務に携われる中、年に6回「あそびの広場」を開催し、子供たちの遊び場の提供のみならず、子育ての不安感や孤立感を和らげるための相談にも応じていらっしゃいます。



社会福祉士として大切にしていることは、話すことで気持ちが晴れたり、気分転換になるような心地良い空間を提供するホスピタリティだそうです。

また仕事の合間をぬって完全ボランティアで活動されている人形劇は、育児で奮闘する親御さんへのメッセージを盛り込み、子供も大人も楽しめる内容になっています。イベント出演依頼も随時受け付け中です。活動内容は「マッキーのマリオネット」で検索してみてください。

小牧さんにインタビューをさせていただいた私自身も現在、イヤイヤ期真っ只中の2歳の子供がいるのですが、子育ての悩みを聞いていただいて、とても気持ちが楽になりました。これからもたくさんのご家庭のお力になっていくことと思います。

## 大阪北支部 研修報告 『折れない心を育てるいのちの授業』(2025/02/15)

毎年好評な「折れない心を育てるいのちの授業」を令和6年度も開催しました。講師の田中氏（大阪北支部副支部長）は、小・中学生に向けて本授業を行う経験があることから、子どもたちの参加もOKな授業でした。

授業では、前半は、苦しみとはどうやって生まれるのか、自分（受講者）自身の苦しみは何かを確認しました。後半は支えとは何か、苦しんでいる人には何があれば良いのだろうかを考え、援助職である私たちが相手にとって『聴いてくれる人・わかってくれる人』になるための方法を学びました。

事後アンケートから、「子どもと参加できた。実践可能な内容だった。」「今回は不登校の方の動画を参考にしましたが、認知症の方や、普段の生活でも活用できる内容だと思いました。」「自分も誰かにとって苦しみをわかってくれる人になれるように今回学んだ反復も大切にして、日々を過ごしたり支援にも活かしていきたいです。」といったお声をいただきました。

私も受講して、「相談援助の主人公は本人」と何度か強調されていたのが印象に残っています。心が折れそうなクライアントを目の前にして、援助者としてどんな関わりができるのが、どんな面談技法が適切なのか、すごく学びになりました。



★★大阪北支部公式 LINE アカウントのお知らせ（※他支部の方の登録も大歓迎です！！）  
情報が早い！情報が手元に届く支部公式 LINE。目標としていた200名の登録を突破しました！  
LINE「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するか QRコードをスキャンしてください。

